

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぴ1		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2025年10月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2025年10月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	男女ともにスタッフが充足しており、対応範囲が広い。	スタッフの充足率が高く、またそれぞれの職務経験より幅広いニーズの受け入れが可能。児童様の適正を見て人員配置、支援のアプローチなどを臨機応変に行うよう心がけている。スタッフが児童と関わる時間も多く取れる。	内部共有に加え、外部研修などを通じてスタッフ対応力やプログラムの幅を広げていこう、取り組んでいる。
2	OT的な製作が充実している	細かい作業やさみ作業のサポートを手厚く配置している。	製作活動が一律の製作物になる中で、年齢層の幅もある為、各児童様にとっての難易度が異なっている。低学年、高学年、発達問わず充実感を得られる提案に取り組んでいる。
3	保護者様ニーズ、児童様のニーズに対する支援対応の積極性	児童様との対話、傾聴に力を入れており、リスクマネジメントを行った上で可能な限り個々の希望に沿う活動を行っている。月に1回の季節に応じたイベントを実施し、様々な体験が出来るよう工夫している。	関係機関との連携を強化、共有機会の場を設けて、更にニーズや強みの引き出しが出来るよう、努めたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体共通活動プログラムに関し	日々の生活支援を放課後と言う限られた時間で支援する中で、平日だと年齢層や在住地域も踏まえ、下校時刻にも時間差があり、集団プログラムの実施が難しい事が多い。また、個々のニーズに応える事や、主体性の尊重に注力する中で、特定プログラム以外の全体一律の活動に時間配分出来かねる事がある。	短時間の集団活動等をなるべく多く取り入れる。
2	日々の小イベントに関し	同上の理由となるが、日々の生活支援を放課後と言う限られた時間での支援で、平日だと年齢層や在住地域も踏まえ、下校時刻にも時間差がある事で、細かくイベントを行えない事もある。	短時間の集団活動等をなるべく多く取り入れる。
3	デイ全体を通しての年齢層が広い	様々な年齢層の関わりの中でそれぞれに役割を与えていくメリットを感じる一方で、年少者向けのプログラムとなると高学年の児童様はお世話役になる事がある。また反面、年少者向けのプログラムばかりにならない事がある。	様々な年齢の関わりは基本メリットとも多いと感じています。より良い支援をデイ全体にフィットさせる為に、スタッフの充足を活かした小集団活動の実施 集団活動の中に各児への役割を与え、活動全体の整合を取る。年代別プログラムの別途実施。などを随時検討します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すてっぷ1

公表日 2025 年 11 月 1 日

利用児童数 2025 年 10 月 28 日 回収数

6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5			1	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3			3	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		1	2	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6				モニタリング等で様々な情報共有をさせていただき支援にも反映してくれています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	1	2	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				連絡体制はLINEでやりとりさせていただいているので助かっています。お便り以外でも普段の様子分かるようなツールがあれば良いと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			3	日頃から十分に配慮されているだろうと思います。可能であれば緊急、災害時の避難場所等の共有をして頂けるとありがたいです。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1	日頃から十分に配慮されていると思います。送迎時のジュニアシート着用の確認をしていたらと有難いです。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			2	現在までそのような事案が無いので分かりません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				お世話になって1年が経ちましたが、先生やお友達のお名前を覚えてくれるほどになりました。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				送迎の連絡を頂くとき『○○先生お迎えに来てくれた！』と喜んで靴を履きにいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				ちょっとしたことも共有させていただいたあとにすぐに対応してくださるなど、日頃から寄り添って下さりありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すてっぷ1
------	-------

公表日 2025 年 11 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・人数に応じた遊び方の提案。 ・遊ぶ区間を間引きを行う。 ・状況と支援内容により、別室を開放する。	定員に対して支援室の広さは適切ではあるが、おもちゃが広がると狭く感じる事もあるので工夫して支援にあたる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		ドライバーや有資格者の確保など、基本運営の常勤を確保しながら、非常勤スタッフの雇用にて全日充足した配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様から返却された評価表に目を通す、随時頂くご意見に応えられるよう全体で検討を朝礼や、支援会議を通して常に改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	どのような活動をするかはチームと言うより事業所全体で話し合って立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		家族支援は行っているが研修などは実施できていないので検討していきたい。	
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		保護者交流の会は設けているが回数が少ないのできょうだい同士の交流も踏まえて検討したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		地域住民を招待する事は現状なかなか難しいが、地域での活動を向上させていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルは各種揃えており、お応えしているが定期的に周知する機会が必要であると感じる事がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			所定訓練は必ず行っているが曜日、タイミングにより全児童様に訓練に参加出来ない児童様もいる。スケジュールリングや内容を凝縮して行う時短プログラムなども検討したい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			外部講師研修を活用。事業所内でも所定回数に関係なく、随時実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				